

ステレオ時代 neo

STEREO GENERATION

Vol.10

良い音をもっと、もっと楽しく。
1970～80年代の国産オーディオを中心に
楽しむための雑誌です。

拝啓

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご厚情を賜り、誠に感謝いたしております。

このたび弊社では、1970～90年代の国産オーディオを楽しみ尽くすシリーズとして、「ステレオ時代neo」を発行します。当時名機と言われたコンポの開発秘話、最近再注目されているラジカセやカセットテープの話題など、かつてのオーディオ・ブームを知る人なら胸熱、知らない人なら新鮮なページ満載です。70年～80年代の国産オーディオ関連のビジネスを展開されているクライアント様においては、貴社宣伝媒体としてご活用くださいますよう、何卒ご検討のほど、宜しく願い申し上げます。

敬具

【特集】ザ・オーディオ・コーディネーター

ヤマハで長年オーディオ機器の開発、評論家対策に携わった山東正彦氏に、製品開発のストーリーを伺う。名機、HA-2、NS-10M、PX-1、CD-1…その誕生の裏側とは。

山東正彦氏：1975～89年というオーディオ全盛期にオーディオ開発&評論家対策の中心として活躍。昭和53年度には、NHK教育放送でオーディオ技術講座の講師としてオーディオの普及啓蒙番組に出演。そのときの担当テーマは「オーディオシステムの使いこなし」。



※企画内容は変更となる場合がございます。



ステレオ時代neo vol.10

体裁：B5正寸 オールカラー 144P

定価：1870円（本体1700円＋税）

発行部数：3万部 発行形態：ムック

発売日：2025年9月5日 発売予定

⇒広告オーダー締切 2025年8月1日(金)

2025年のステレオ時代NEOは年4回の発行を予定しております。

■ 広告定価料金表／原稿サイズ ■

掲載料金(税別)	原稿寸法(mm)	原稿締切日
¥800,000	210 × 167	入稿締切日
¥700,000	257 × 182	
¥650,000	257 × 182	8/8(金)
¥600,000	257 × 182	
¥300,000	110 × 150 (※)	(※) 枠付き

あの頃のGLANZ

アナログ全盛期、日本は世界のトップを端っていた。そのポイントは高級機だけでなく普及クラスでも実力機が揃っていたことだろう。中でも低価格で音の良いカートリッジを提供していたミタチ音響とそのブランドGLANZは当時の若者たちの味方だった。今もミタチ音響=グランツの技術を受け継ぐハマダ音響の濱田孝政氏に当時のグランツを語っていただく。



マクセル、全盛期の内側

2026年はカセット誕生から60年、また現在でも製造されているメジャーブランド唯一のカセットテープ、URは昨年でシリーズ誕生40年を迎えた。誕生から現在までカセットテープを支え続けたマクセルを、カセット全盛期に牽引した赤井紀男元社長に、カセット全盛期のリアルなお話を伺う。



その他、オーディオブーム世代に刺さる、
・アナログオーディオ、カセットテープ、ラジカセなど懐かしいネタ
・今時の「プチブラ」オーディオ など、他誌では読めない企画が満載です！

株式会社 三栄 第一営業企画局
〒163-1126 東京都新宿区西新宿6-22-1
新宿スクエアタワー26F
email : koukoku_01@san-ei-corp.co.jp

